



JadongPay

\$JPAY

情報ノート — 自発的開示

2026年6月

情報ノート — JadongPay (JPAY)

透明性のために自発的に作成された情報文書です。JadongPayのオファリングは適用されるデミニミス基準を下回るため、目論見書や規制上の通知は不要です。本ノートは情報提供のみを目的としており、目論見書、投資助言、または勧誘を構成するものではありません。

1. オファリングの概要

JadongPayは、分散型プレセールを通じて、BNBと引き換えにJPAYユーティリティトークン（BEP-20、Binance Smart Chain）の取得を提供します。オファリングは、公募に適用されるデミニミス基準を下回るよう意図的に上限が設けられています。

項目	詳細
トークン	JPAY（BEP-20、Binance Smart Chain）
性質	ユーティリティトークン — 規制された金融商品ではない
レート	7,000 JPAY / BNB
ソフトキャップ	500,000 JPAY
ハードキャップ	2,500,000 JPAY
ウォレットあたり最小/最大	0.01 BNB / 5 BNB
チャネル	公式dApp (jadongpay.com) のみ

2. 資金の用途

プレセール中に調達されたBNBは以下に使用されます：PancakeSwapでの流動性の作成（ロック）、プロジェクトの開発と保守（インフラ、コントラクト、dApp）、およびマーケティングとコミュニティ成長の活動。

3. トークンの仕組み

JPAYは売却のみに10%の手数料を適用し、以下のように分配されます：7%のUSDT保有者への再分配、2%のバーン（実際の供給量削減）、0.5%のリザーブ、0.5%のマーケティング。購入と送金は手数料無料です。再分配メカニズムは技術的機能であり、保証されたリターンを構成するものではありません。

4. リスク要因

JPAYの取得には重大なリスクが伴います：投入資本のリスク、ボラティリティ、保証されたリターンの欠如、技術およびスマートコントラクトリスク、流動性リスク、規制リスク。利用規約の完全なリスク警告を参照してください。

5. 規制当局の承認なし

本ノートはFSMAまたは他のいかなる当局にも提出または承認されていません。デミニミス制度の下では、いかなる承認も必要ありません。JPAYは、いかなる預金保証または投資家補償制度の対象でもありません。

6. 枠組み

プロジェクトは欧州連合から運営されており、規則（EU）2023/1114（MiCA）の遵守を目指しています。制限された管轄区域の居住者の参加は禁止されています。

自発的情報ノート — 2026年6月。権威ある情報源は引き続きオンチェーンのスマートコントラクトおよび利用規約です。